



「求めさない。そうすれば、与えられる。」

(ルカによる福音書 11 章 9 節)



発行

2013年11月1日 第95号

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
 発行人/池田 纈義
 編集人/湧井 規子
 〒457-0805
 名古屋南区三吉町6丁目17番地
 TEL/052-612-3370 (本部)
 FAX/052-611-9085
 URL/http://shakaikan.com
 E-mail/shakaikan@shakaikan.com

三十年のはたらきを振り返る
 「そだちあい」の仲間と地域

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館創立五十三周年記念式を九月二十六日に行いました。一九五九年伊勢湾台風による甚大な被害に対する救援活動、その後、託児活動を発展させ一歩を踏み出しました。それから五十二年、常に、地域のニーズと目の前の子どもたちやその親御さんの願いに応える事業を創ってきました。

私自身の勤続三十年をはじめ、二十年十年と職員八人が、永年勤続表彰されました。

自分自身三十年のはたらきを振り返ると、十年目は、障害を持つ子どもの身近で専門的な療育の場として、現在の南部地域療育センターそよ風の建設と名古屋市の早期療育システムづくりに向かいつつ、阪神大震災の支援活動にかかわっていました。

二十年目は「発達センターあつた」

「発達センターちよだ」の運営を名古屋から移管され、新たな地域で働きを創り出す時期となりました。合わせて障害児者の制度が支援費制度に移行し、障害を持つ方々とその家族の方にとって地域での暮らしへの扉が開こうとしていた時期でした。

三十年目、「東部地域療育センター」の開設を迎えます。一九八六年名古屋市が、障害を持つ子どもとその家族が、どこに暮らしていても、身近で、気軽に相談ができ、必要な医療と療育を受けることができるシステムとして「名古屋地域療育センター構想」を策定しました。それから四半世紀が経ち、ようやくひとつの節目となります。一方、育ちにくさや育ちに不安のある子どもや、子育てに困難を抱えている家族から相談、療育への求めが広がり、気になる段階からの相談、支援、乳幼児期から学齢期へのライフサイクルを見通した支援など、さらなる働きが求められています。

社会館のはたらきと自身の三十年のはたらきを振り返るキーワードは「子ども」「地域」。社会館では、地域に向けた相談等の窓口を持っています。保育園の子育て支援センター、高齢事業の居宅介護支援と配食サービス。児童発達支援センターでの療育グループ、障害者の相談支援など。施設や事業所に通ってもらうはたらきとともに、家庭、地域での生活と暮らし、育ちへの相談、支援、見守りが必要な方への関わりと働きを担っています。不安や困難性を持った方とその家族の相談と支援のはたらきから、事業を掘り起こしてきたのが社会館の歴史として現在につながっているように思います。

人権に即した視点と長年の要望のもと、介護保険、支援費制度、障害者自立支援法から障害者総合支援法、そして、子ども子育て支援制度と新たな制度がつくられてきました。私たちは当たり前の暮らしと育ちを求める方とともに制度を使いこなす、制度に使われるのではなく、求めに応える制度へと切り拓いて行きたいと思えます。

四人で始まった社会館は、正規職員をはじめ、ヘルパーさんや環境整備をさせていただいている方を含め三百人を超える方のはたらきで成り立っています。「であい、ふれあい、そだちあい」の言葉の「そだちあい」は、社会館の職員が互いに切磋琢磨していく姿であるとともに、利用者やその家族、地域の方とともに仕事づくりをすすめる、人づくりを実践していると我が身を持って感じています。十年、二十年、三十年と節目を迎えた職員と、働きはじめた間もない仲間も含め「そだちあい」とはたらきを創り出す担い手として、互いに、人の暮らしをつくるための課題に希望を持って、人と人とが結ばれ育ちあうような「であい・ふれあい・そだちあい」を担っていききたいと思えます。

法人事務長 渋谷 文平

事業所紹介

発達センター部

- 南部地域療育センターそよ風 愛育診療所
- デイサービス A C T
- デイサービス みどり
- 児童発達支援事業所 みどりそよ風
- 障害児相談支援事業所 そよ風
- 発達センターあつた
- デイサービスあつた
- 障害児相談支援事業所あつた
- 発達センターちよだ
- デイサービスちよだ
- 障害児相談支援事業所ちよだ

支援センター部

- 活動センターねーぶる
- 南区障害者生活支援センター
- ヘルパーステーションびぼっと
- ショートステイびぼっと
- びぼっと相談支援事業所
- ホーム社会館
- のどか・うらら・天歩
- しゃかいかん・いっぽ

コミュニティ部

- 菜の花保育園
- 子育て支援センターなのはな
- 名古屋のびのび
- 子育てサポート事業南支部
- みどり菜の花保育園
- 名南ユースセンター A C T
- ちどり児童会
- デイサービス友
- デイサービス愛
- 社会館居宅介護支援事業所
- 配食サービスゆうの里

名古屋キリスト教社会館の使命

名古屋キリスト教社会館は、創立の精神に基づき、次の使命を担います。

1. すべての人々がかげがえのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していける社会を築くことをめざします。
2. 隣人とのであい、ふれあい、そだちあいを大切に、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。
3. 世界の人々との交わりを通して、福祉社会の実現のために働きます。

創世記三章一〜十三節

- 一 主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」
- 二 女は蛇に答えた。「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。」
- 三 でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」
- 四 蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。」
- 五 それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」
- 六 女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。
- 七 二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。
- 八 その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木に隠れると、
- 九 主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか。」
- 十 彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」
- 十一 神は言われた。「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなど命じた木から食べたのか。」
- 十二 アダムは答えた。「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」

十三 主なる神は女に向かつて言われた。「何とことをしたのか。」女は答えた。「蛇がだましたので、食べてしまいました。」

旧約聖書の創世記一章二十七節には「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。」と記されています。

男性中心の社会の中で、ハラスメントのみみ消し、被害を受けた人が職場にいられなくなる等、女性が泣き寝入りする出来事が、本当に後を絶ちません。女性として生を受けたことが、喜びの出来事にはなっていないのです。神さまに、どうして人を「男と女に創造された」のかと問いかけてなくなる程です。

厚生労働大臣の諮問機関である労働政策審議会雇用均等分科会では、二〇〇六年に改定された均等法に昨年十月より見直しが行われてきました。国連女性差別撤廃委員会からも男女平等の実現に向けて様々な勧告が出されていますし、女性団体や労働組合からも男女平等の前進に向けての要請も届いていたのですが、九月二十七日の雇用均等分科会では法改正ではなく、指針の見直しなどにとどまる。「今後の男女雇用機会均等対策について(報告)」が出されました。

失樂園物語

～わたしたちは何を勘違いしているのか～

わたしが属する日本聖公会という教派でも、二〇二〇年までに三〇%の女性を意思決定の場に」と言う国の方針と同じく、二〇二二年までに意思決定機関での女性の比率を少なくとも三〇%にしようと呼びかけていますが、実現を危ぶむ声も聞こえてきます。日常的にも、一般社会以上に男性中心とも思えるキリスト教会では、女性差別が聖書によって正当化する言動を頻繁に見聞します。

創世記の三章六節を根拠とし、女がまじり劣った罪深い者として非難することが、キリスト教会では正当化されて来ましたが、しかし、このお話で注目したいのは、古代地中海沿岸の民間伝承で、禁断の木の実、のような禁止物語が、物語の主役が命令に背くことによって物語が展開することの類似性です。このお話では女性が主役であり、好奇心旺盛であり、自分の判断で境界を越えることを試みるのです。女性が人間の特質を開花させ、人間らしい一歩を踏み出すのです。女性は、実をとって食べ、美味しいと感じたのでしよう。分かち合うために、その実を一緒にいた男にも渡します。とても素敵な行為です。

失樂園物語が注意を喚起するのは、女性の行動ではなく、その後、神から所在をたずねられた時に、責任をなすりつけて言い逃れるその態度なのです。「わたしが間違っていました。ごめんささい」と言えない状況が、関係を壊すことは火を見るより明らかです。このように関係が壊れることによって、人間らしい生命が失われるのです。これこそが神さまの語られた「死」なのです。聖書は続けて「お前のはらみの苦しみを大きなものにする。お前は、苦しんで子を産む。お前は男を求め、彼はお前を支配する。(創世記三:16)」と、神さまが女に向かつて言われたことを記しています。失樂園物語は、男性が女性を支配する男性中心の社会が、素敵な関係が壊れてしまった悲しい結末であることを語るのです。そして、男性と女性の平等な関係の回復が、人間が男と女に創造されたすばらしさを実感するためにも必要不可欠であることを教えているのです。

女であること、男であることを、心から喜べる平等な社会となるように、祈りながら働いていきたいと思えます。

(日本聖公会 名古屋聖ヨハネ教会 司祭 後藤 香織)

名古屋市東部地域療育センターの建設工事が始まりました

建設工事が始まりました

名古屋市東部方面(守山区、名東区、千種区)に住む子どもたち、その家族にとって大きな願いである東部地域療育センターの建設工事がいよいよ始まりました。

一年間かけ検討してきた建物の設計は、七月にほぼ完成しました。この場所、この建物に子どもたちの声が響く日が待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

建設地は、平和公園の南側に位置し、千種区の中でも緑がとでも多く、気持ちの良い風の吹く小高い場所です。(千種区猫洞通一丁目)。

写真は起工式(十月十一日)の様子です。名古屋キリスト教社会館、安井建築設計事務所設計監理会社、守谷商会(建設会社)の各関係者、総勢三十二名の参加者で行われました。発

達センターちよだの保護者会長・副会長さんが年長児さん二人と親子で参列し、鉄入れにも参加しました。

そして十月十五日より建設工事が開始されました。

さて、お気付きと思いますが、このペースでは三月の竣工にはまにあいません。

現在、建設業界は消費税増税前の駆け込み工事と、リーマンショック後の人手不足等の理由で、様々な所で予定通り工事が進まないという事態が起きています。

今回の東部建設についてもこのような状況のなかで、着工時期が遅れるという事態が起きました。今回、株式会社守谷商会が手を挙げて下さったことで、なんとか六月オープン予定で準備を進められることとなりました。

四月から利用を希望している子どもたちの入園を遅らせることの無いよう、四・五月の療育をどのように行うのか、現在名古屋市と協議を行っています。

さて、社会館後援会のもとに立ち上げた、「東部地域療育センター建設委員会」は、今後も、アンサーリクス・スマスチャリティートークショーや「チャリティーアート展」を企



完成予想図

画するなど、様々な活動を行ううとのことで、心強く思っています。

現在、建設工事費の高騰という新たな問題にもぶつかっています。これまでも沢山の方々に献金を頂いていること、心より感謝しております。しかし、まだまだ必要な献金額には到達できていません。

献金を頂いた方の名前を建物のどこに残したいという計画についても現在検討を進めています。

今後も一層の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

文責 伊藤 輝人
(東部地域療育センター準備室)



笑顔きこえる この街に



ちどり児童会

みんなでつくる「学童まつり」

毎年十月の最終土曜日に「学童まつり」を開催しています。(今年は十月二十六日(土)に源兵衛公園で)二学期になり、学童まつりにむけての準備がはじまりました。子どもたちはあそびコーナーのスタンプラリーを企画しています。「どんなあそびコーナーをやる?」「だれにきてほしい?」と今までの経験から高学年の子を中心に意見を出し合い相談をしています。

あそびコーナーは「こま」「ホッケー」「ダンボールめいろ」「やっこ」「ビーズアクセサリーづくり」など学童ならではのあそびが中心です。あそびを通して子どもから大人までいろいろな人とふれあい、交流できたらいいと思っています。

「学校の友だちに手紙をかこう!」「クラスの子を全員誘いたい」「菜の花保育園の子も呼ぼうよ!」学校の先生にも来てほしいよね」とたくさんの方が来てくれるようにアイデアを出し合っています。公園で一緒にサッカーをする地域の友だちにも声をかけたり、おやつを買いに行く地域のお店にもポスターをはらせてもらっています。

地域の中で人と関わり、つながりをひろげていくことで、学童保育がより地域に根



(楠木 徹)

TEL 612-1346
FAX 611-9085



みどり菜の花保育園

地域に根ざした保育園をめざして

昨年十二月に開所してから、まもなく一年がとうとうとしています。

みどり菜の花保育園のある熊の前学区は、若い世代が多い地域ということもあり、多くの入所の問い合わせや見学者があります。お母さんたちは、保育園の子どもたちを見て「三歳になるとあんなに大きくなるんですね!」「引越したばかりで、誰に相談してよいかわからない!」「二歳の子どもは何して遊ぶの?」など子育ての悩みはつきないようです。相談する人や子どもを安心して遊ばせることのできる場所が少ないこともわかってきました。

そこで、土曜日の午前中園庭を開放し、地域の親子が気軽に遊びに来れるようにしました。連絡をとりあつて近くの友だちと遊びにくる親子もいます。保育園の子どもたちや保育者を見ながら、「初めてどろんこ遊びをした!」「行き帰りの坂道は大変だけれど来て良かった。一緒に遊ぶと楽しい!」と子どもに向き合うお母さんの姿を見て、保育園の役割を再認識します。

これからも、お母さんたちの子育てに触れ、ともに悩み考えながら、親同士をつなぐ役割を担っていききたいと思っています。「子ど



(柏本多恵子)

TEL 879-5557
FAX 879-5556

人生最大の喜び

九月十六日敬老の日。当日は台風十八号の影響も心配されましたが、デイサービス友・愛の敬老会を行うことができました。四十一名の方が参加され、長寿のお祝いをしました。敬老会はご利用者が主役になった会にしていきたい、という思いから「人生最大の喜び」というテーマで皆さんのお話を聞かせていただきました。

女性Aさん「私の人生は八十五年になります。昭和二十年から中国に滞在し、平成三年にやっと日本に戻り今年で二十二年。その間に忘れてしまった日本の言葉や字を覚えるのも大変なことでした。日本の本やキリストについての本で日本語を学ばせていただき、援助を受けながら生活できることに感謝でございます。」

男性Bさん「人生で一番悲しかったことは妻に先立たれたことです。若い頃お国の為といって海軍少年飛行兵に行きました。終戦になり、懐かしい我が家に戻ってこれたことが一番嬉しいことではないかと思っております。」

女性Cさん「旦那とわかれ三十数年、第一の人生は終わりました。今、デイサービスに通い仲間の皆さんと第二の人生を楽し

んでいます。」

他にも「初孫を抱っこした時」「一度、寝たきりの生活を体験し、車イスでデイサービスに通い始めたけれど今は歩くことができる」など辛さ・喜びを涙ぐみながらも語られました。どれだけの苦難を乗り越えてきたことでしょうか。

よくご利用者さんは「ここに来れば地域の懐かしい友達にも会えて、おしゃべりもできて本当に幸せ」と話されます。どれだけ年を重ねても長年住み慣れた家・地域で生活できることがご利用者さん皆さんの願いです。

今、日本は豊かな国と言われている。それは高齢者とは比べられる方々が戦中・戦後激動の時代を乗り越え、社会を築き上げてくださったおかげです。

職員一同、ご利用者さんの笑顔が大好きです。これからも皆さんがお元気で長生きしていただきたいです。

(久野有希奈)



デイサービス友

TEL 612-3077
FAX 611-9085



菜の花保育園

豊かな人間関係を育む

菜の花保育園は、乳幼児期に「豊かな人間関係」を育むことを大切にしよう」と、①豊かな人間関係を育てる②一人ひとりよさも弱さも出し合い互いに認め合い人間関係を育てる、の二点をねらいに二〇〇四年より異年齢保育をはじめました。

ままごとが大好きでいつも仲良く遊んでいる五歳児と三歳児の二人。お母さん役をやりたい三歳児に「お母さんはふたりもいらないの!」と五歳児の強い口調に泣き出す三歳児。お母さんがやりたいのにやらせてもらえなくて泣いていたけれど、「ごめんね」と言われ、「じゃあお姉ちゃんにする」と気持ちを立て直おします。

給食当番の場面で「やりたい!やりたい!」と主張する三歳児に「今日はきょうりゅう(五歳児)が当番だからだめ。それでもやりたい」と主張する三歳児に「こぼすからだめ」「こぼすとなくなっちゃうよ」と声をかけつつ最後には

「じゃあ自分の分だけにしておね。どうしたらいいかを考える五歳児でした。ほかに、保育者が呼びに行っても動こうとしないのにもいい遊びでくれる大好きな五歳児の声かけには「わかった」と応じる三歳児。着替えて四苦八苦している三歳児に「やってあげようか」と自らも異年齢の生活の中でお兄(姉)ちゃんにしてもらった経験や大きくなったという自覚から声をかける四歳児等々。生活を共にする中で、兄(姉)のように慕ったり、弟(妹)のように可愛がりたり、時には本気で言い合ったり様々な関わりを見せてくれる子どもたちです。気持ちを主張しあい、受けとめられ、相手の気持ちにも気づき豊かな人間関係を育んで大きくなってほしいと思います。

(坪井 佳子)



TEL 612-3361
FAX 612-8893

チケット
好評発売中!!

アン・サリー クリスマスチャリティーコンサート

日時：12月21日（土）開場15時 開演15時30分
会場：日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール



子ども会場（託児）：第1会議室（先着申込）
チケット料金：指定席5,000円 自由席4,000円
主催：アン・サリークリスマスチャリティーコンサート実行委員会

このコンサートは、東部地域療育センター建設の為に資金づくりと、地域の方々に地域療育センターの働きと必要性を知ってもらうためのとりくみです。ご理解とご支援をお願い致します。

問い合わせ・チケットのお求めは
発達センターちよだ 052-792-7277

2013年社会館バザー

テーマ：たのしもう つながろう 社会館バザー2013
～東部にみんなの思いを届けよう～



開催日：11月23日（祝）
開催時間：午前10時～午後2時30分

いいもの、安いもの、掘り出し物がいっぱい!!おいしい食べ物、楽しいイベントも盛りだくさん。皆様ぜひお出掛けください!

【今年度の重点目的】
☆2014年オープン 東部地域療育センター建設 資金づくり
【バザー物品を募集します!】

他の家庭で使ってもらえそうな、お家で眠っている物品がありましたら、ご提供ください。

連絡先 南部地域療育センターそよ風 TEL 612-3411

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々の芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同)

〔一般寄付〕

愛知西地区教会婦人連合 萩野寿子、秋野勝紀、天野いつこ、伊藤栄、伊藤早美子、今泉京子、岩田悦、大島和洋、大橋洋子、金子豊子、株式会社サグが設備サービース、賀屋哲男、穴戸健夫、杉本節子、杉本奈津江、鈴木伊央、高田和夫、高森敏子、田口恵美子、田島宣人、田中澄子、中島忍、中村紀子、平井妙子、松山良山田方子、山盛結一

〔東部地域療育センター建設寄付〕
GSTエッジ 稲葉厚子、秋野勝紀、荒川八千代、安藤光枝、池田魏義、石黒留子、石田淳子、磯部モーターズ 磯部昌治、磯村厚、伊藤醸一、伊藤輝人、伊藤美恵子、伊藤祐樹、伊藤俊子、今井史紀、今泉英之、岩田悦、岩田豊、植木信一、馬崎雄一、梅村昭子、江尻寛、榎本久美江、海老原リキ、太田明子、大塚京子、大西寿次、大矢崇司、大矢千里、岡田まり子、岡村悦子、岡村恒義、沖拓郎、奥内秀貴、小関健太、尾関俊美、落合佑香、小野勝子、小原貴史、小原之後、かえて保育園、香川省子、香

川祐一、加古範子、笠井義之、梶谷俊広、加藤淳、加藤加代、加藤瑞菜、加藤芳宏、加藤好美、株式会社サンゲツ、株式会社谷口商会、株式会社サグが設備サービース、神谷恭子、神谷辰男、神谷利之、神谷友之、賀屋哲男、河合彰紀、川崎広子、川原啓美、北原紀喜、木下勝子、桐原恵嗣、金城学院幼稚園、久保寺迪子、桐澤慶子、小塚美幸、小寺由三子、後藤明子、小早川弘江、小林幸男、小松徹、小宮一子、小山ゆり、近藤京子、近藤志保、近藤智子、近藤幹夫、斎藤千栄美、坂部政英、佐竹敬子、佐藤正章、さぼりと2、穴戸健夫、品川禮佑、芝詳子、加藤千春、川上久美子、今井百合子、柴田商店街振興組合、渋谷文平、澁谷理絵、山本町子、藤井弘美、河上裕美子、北岸千恵子、大倉由美、清水裕子、白石淑江、杉山さくら、杉山ちづ子、西部地域療育センター 保護者会、関谷祐子、大同紙工印刷株式会社、高桑嘉子、高田洋子、高森敏子、高柳明史、高柳哲尚、高柳尚史、田口恵美子、田倉さやか、竹内和美、竹川登介、竹川雅子、武田美和子、田中澄子、田中友安、田中裕人、谷本まゆみ、田部井喜三郎、田部井星一、田丸敏高、田村富士雄、田村有紀、丹波雅弘、千種東分会、東山保育園、太田かおり、勅使千鶴、ちよだ募金箱、恒川修、坪倉嘉隆、鶴田

吉和、手嶋義勝、土肥悟、東海地本募金、東海地本 名南支部 社会館分会、土岐律子、徳重幼稚園、内藤義三、長坂保伸、永田大介、中保育園 保護者会、中村みえ子、中和野メリーグレセス、名古屋市職員労働組合福祉支部、鳴子保育園組合員一同、名古屋中央教会、成田節子、成瀬まゆみ、南部地域療育センターそよ風、親の会、南陽第一保育園 職場役員、西村清、日本アラライ

〔震災支援寄付〕
恒川修 (以上 6/27(9/30)

第32回「社会館夏まつり」の御協力と御参加、ありがとうございました

台風の影響が心配されましたが、8月31日、源兵衛公園にて無事、夏まつりを終えることが出来ました。今年古くから親しまれている「炭坑節」や「名古屋ばやし」を中心に、新しい曲も含めて、大人も子どもも地域の皆さんにも入っていただき、踊りの輪が大きくなりました。「社会館夏まつり」にご尽力いただいた多くの皆様と、参加していただいた地域の皆様に改めて感謝を申し上げます。

クリスマス献金のお願い

神様が遣わされた救い主イエスの降誕祭を、世界の同胞と共に祝える喜びに感謝します。社会館では、制度で保障されない働きがいくつかあります。その事業の支えとなる資金のための献金に、何卒ご協力をお願い申し上げます。

【クリスマス献金送付先】
振込先 郵便為替 00840-3-1576
口座名 社会福祉法人名古屋キリスト教社会館

たくさんのご来場ありがとうございました

7月27日（土）
発達センターちよだ夏まつり
9月7日（土）
あったかカーニバル VOL.10
(発達センターあつた)
～地域の方々のご支援、ご協力に感謝いたします～

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。
法人への苦情は、
本部事務局
612-3370
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。
第三者委員は、
仲田 伸輝 821-0570
小林 冴子 611-0401

お手軽お料理教室

これからの季節に鍋や汁にも使え重宝します!!
『さんまを使ったつみれ』ハンバーグや団子にしよう!

材料 さんま：2尾 葱：1/2本
卸し生姜：小匙 1/3 酒：少々
片栗粉：大匙 1弱 味噌：小匙 1

〈作り方〉
①刺身用に卸してもらったものを購入（皮を引いてもらえばもっと楽ちん）し、包丁でたたく（荒目にたたくと食感が残り美味です）
②葱はみじん切りにし、①と混ぜる
③ボールに①②を入れ、調味料を加える。
④ハンバーグなら俵型に成型し、軽く油を敷いたフライパンで両面焦げ色がつくまで焼く。つみれ団子なら、丸くまるめたものを具の入った汁の中へ入れ、煮えたら味を調える。

〈応用のポイント!!〉
*さんま以外にいわしでも可能。包丁でたたくのではなく、フードプロセッサーやすり鉢ですり身にすると滑らかになります。
*青魚でなく白身の魚でも大丈夫ですが、やわらかくするために、豆腐やおから（魚の1/3～1/2）を使うとよりやわらかくなります。
*ハンバーグ、つみれだんごにしてつみれ汁、鍋物の具にいろいろ重宝するので、まとめて作って、火を通したものを冷凍しておくことをお勧めします。
(南部地域療育センターそよ風 小原千里)

編集後記

東部地域療育センターの建設が始まった。着工前日の14日、更地の建設地においてパーベキユウ大会が開かれた。まだまだだやるべきことはいっぱいだが、集った人々の「ここに建つんだ」と思いを馳せたという笑顔に励まされた。そして中刷りの「第4次将来計画構想」。「そだちあい」の仲間と地域に向けての歩みは続く。
(A.S.)